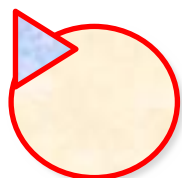




3 ワードマネジメントのご案内





3ワードマネジメントとは…

参加者が、自身のあり方（ビーイング・バリュー）
を再確認しブレない自分軸を定める
ワーク中心の内発型人材開発研修です



たった3つのワードで、自分の軸を定め
変化に強い自律型人材への変容を図ります！

3 ワードマネジメント研修の特徴

point **1** **あり方**の見える化

point **2** **共存**思考

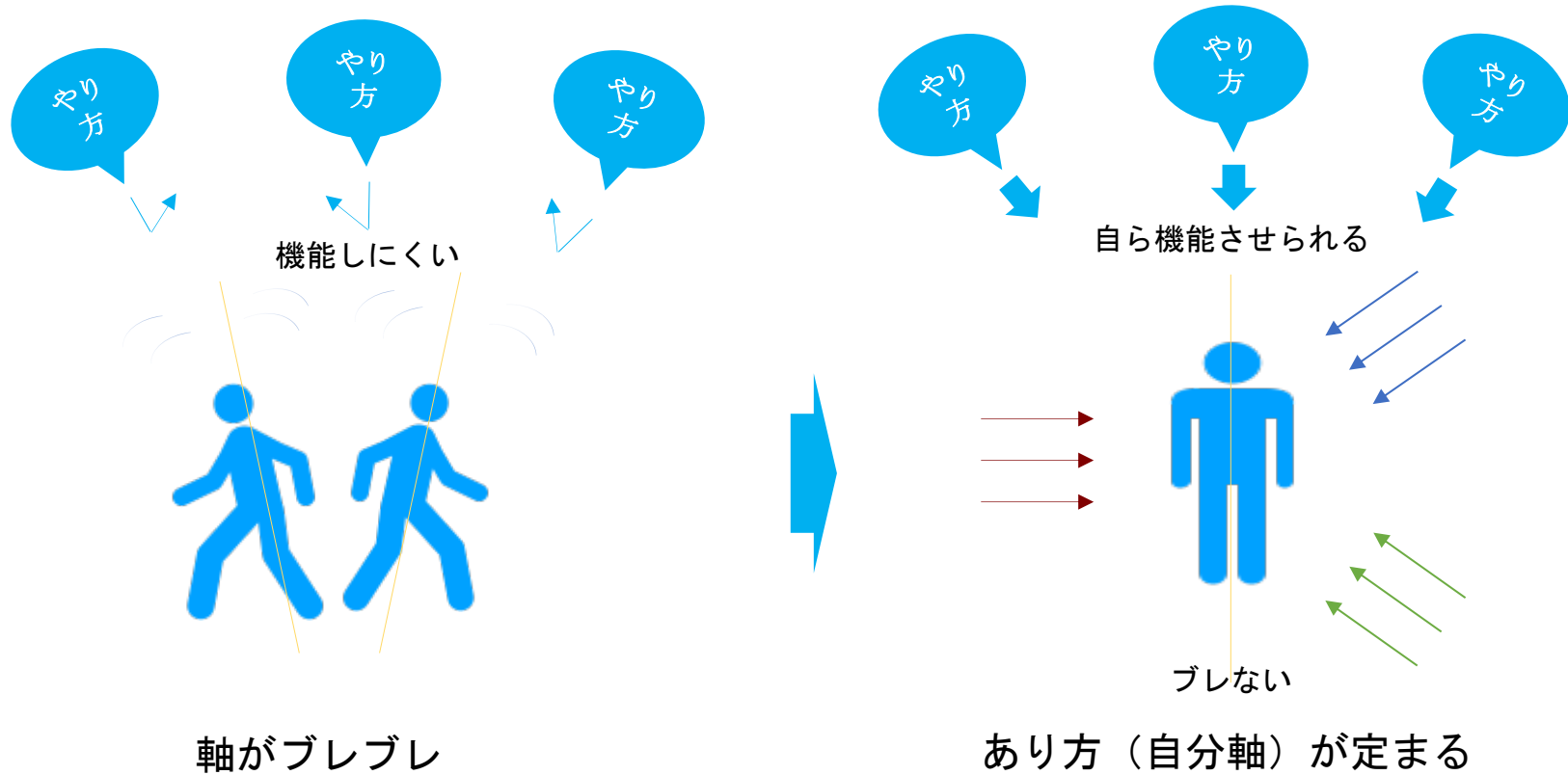
point **3** **善用**思考

3 ワードマネジメント研修の特徴

point

1

あり方の見える化



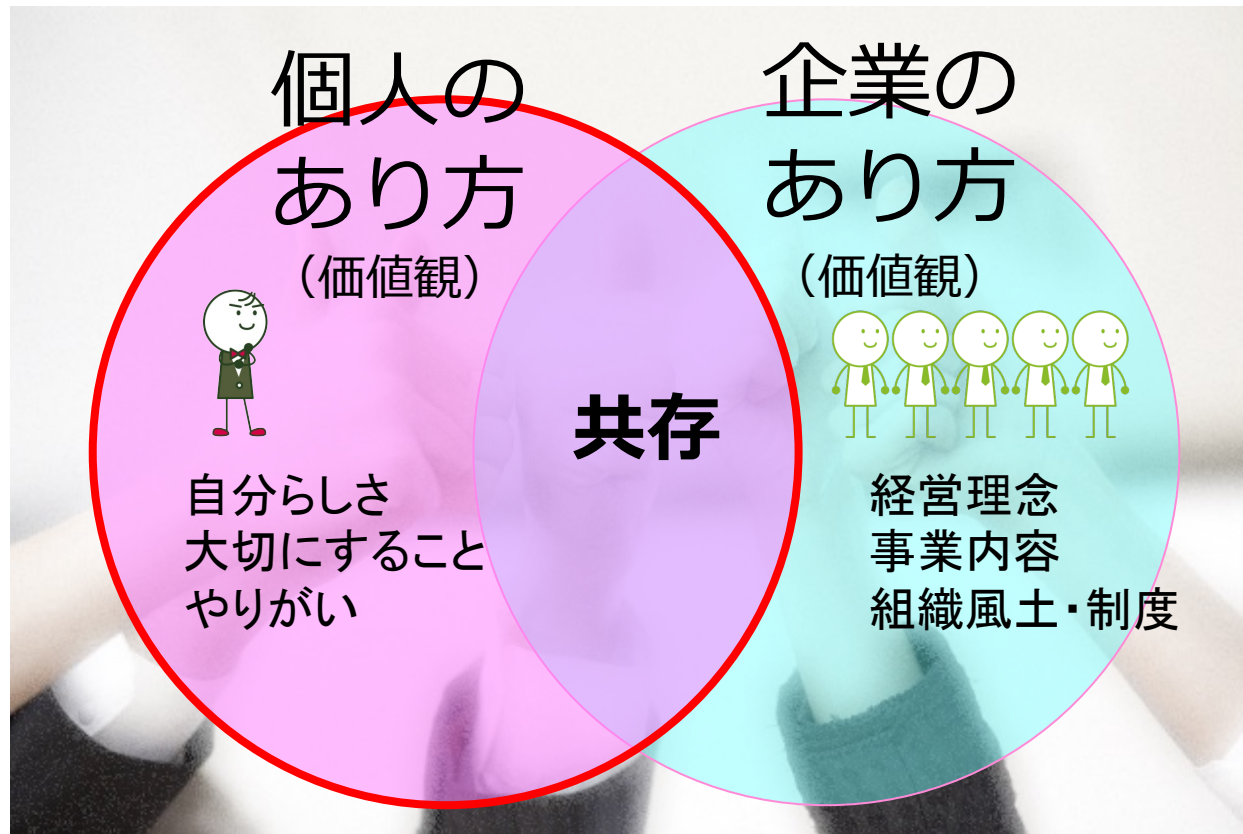
軸がぶれている状態でやり方だけねじ込んでも、うまく機能しない

point

2

共存思考

個人のあり方（価値観）と組織のあり方（価値観）が
“あんばいよく”交わる（共存する）領域を作る



point

2

共存思考

個人のらしさと組織のらしさが共存できること

「組織には価値観がある。そこに働く者にも価値観がある。

組織において成果をあげるためには、働く者の価値観が組織の価値観になじまなければならない。同一である必要はない。

だが、共存できなければならない。

さもないと、心樂しまず、成果もあがらない。」

【出典】 P・Fドラッカー著『プロフェッショナルの条件』

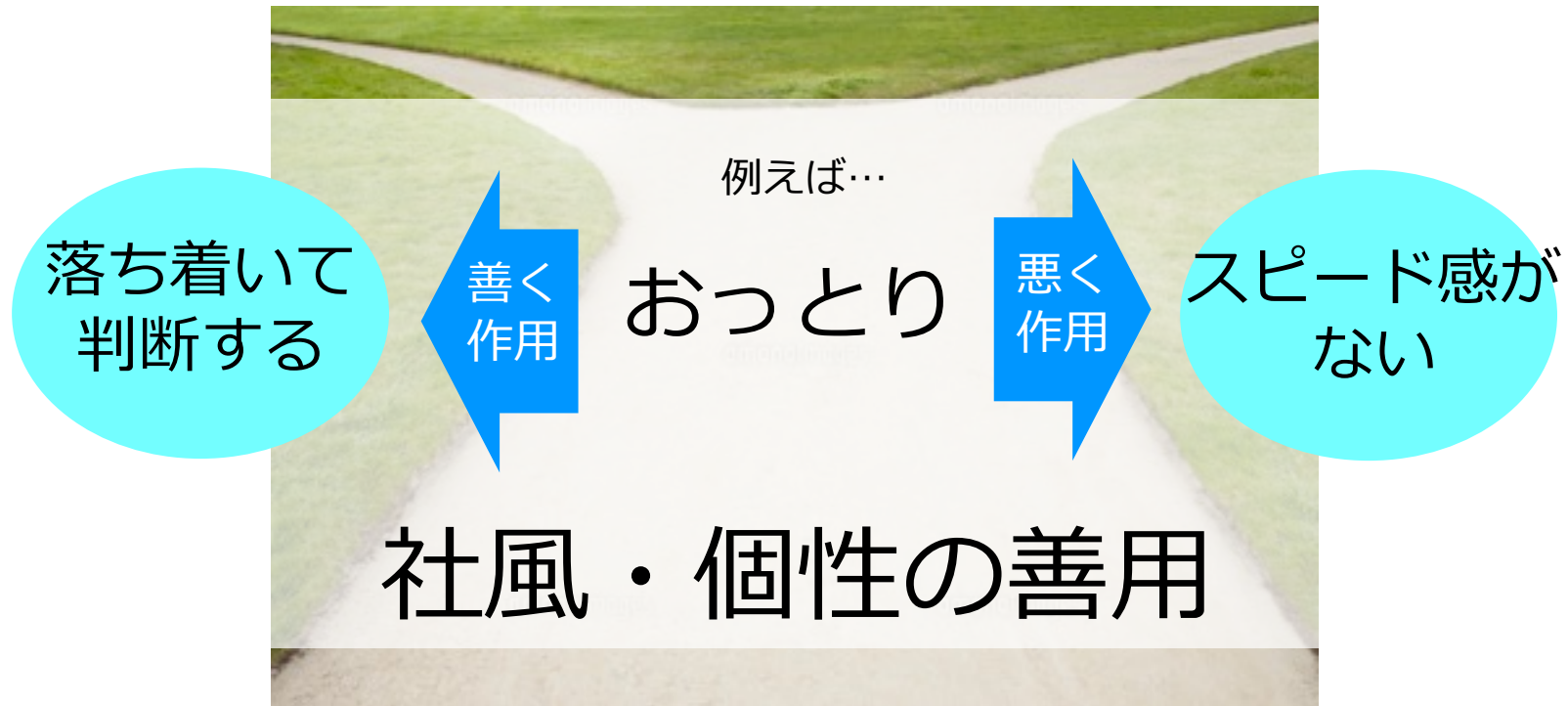


point

3

善用思考

個人でも組織でも、特性を善用するという発想



point

3

善用思考

強みを活かす → 特性を善用する

自分を経営する = 自己の特性を知る
↓
特性を善用する

二極思考から → 善用思考へ

いいか ↔ 悪いか

強みも弱みも善用する

3 ワードマネジメントの狙いと効果

研修のねらい（目的）

自分のあり方（自分軸）が定まった自律型人材への変容

研修のゴール（目標）

- 受講者が、自分の軸となる3つのワードを選定し、定義づけおよび問いかけを定める
- 受講者が、自分の軸（あり方）を再確認し、共存思考、善用思考を理解、実践する
- 5グラドルールの実践を通じ、組織貢献の高い人材形成を図る

研修の効果

- ブレない人材形成
- 心理的安全性が高いチームづくりへの貢献
- 答えは与えられるのではなく、自ら考え、つくるものだという意識醸成

3 ワードマネジメントのカリキュラム概要

研修内容

・ 2日（6時間 × 2日）



カリキュラム	
9:00	5 グランドルール（心理的安全性）
	自己理解① （自分の思考・行動のクセを知る）
	自己理解② （価値と能力）
	自己理解③ （自分マップの作成）
12:00	（昼食）
13:00	3 ワードマネジメント① （大切にしている3ワード）
	3 ワードマネジメント② （定義づけ）
	3 ワードマネジメント③ （問いかげづくり）
	組織に貢献する人材① （共存思考）
	組織に貢献する人材② （善用思考）
	課題解説
	16:00



- ★自分経営の
実践
- ★5グランドルール
の実践

フォローアップ

実践状況を持ち寄り、
ワーク（整理）→発表→フィードバック
を繰り返し、アクションプランを
ブラッシュアップ（実践を加速）

フォローアップ（1日）

うまくいったこと ➡ 磨く

うまくいかなかったこと ➡ 見直す